

2014年10月17日

## 丸井グループは「Scope3」による 温室効果ガス(GHG)排出量の算定をスタートしました。

株式会社丸井グループ(本社:東京都中野区、代表取締役社長:青井浩)は、このたび、「Scope3」(原材料の調達から生産、廃棄にわたるサプライチェーン全体における温室効果ガス(GHG)の排出)の算定をスタートいたしました。

当社はこれまで、企業活動と地球環境との調和をはかるため、省エネルギー、省資源をはじめ環境保全に配慮した取組みをすすめてまいりました。これまでの取組みに加え、丸井グループのサプライチェーン全体のGHG排出量について継続的に推移を確認し、削減ポイントの把握をおこなうとともに、算定値の精度向上に努めてまいります。

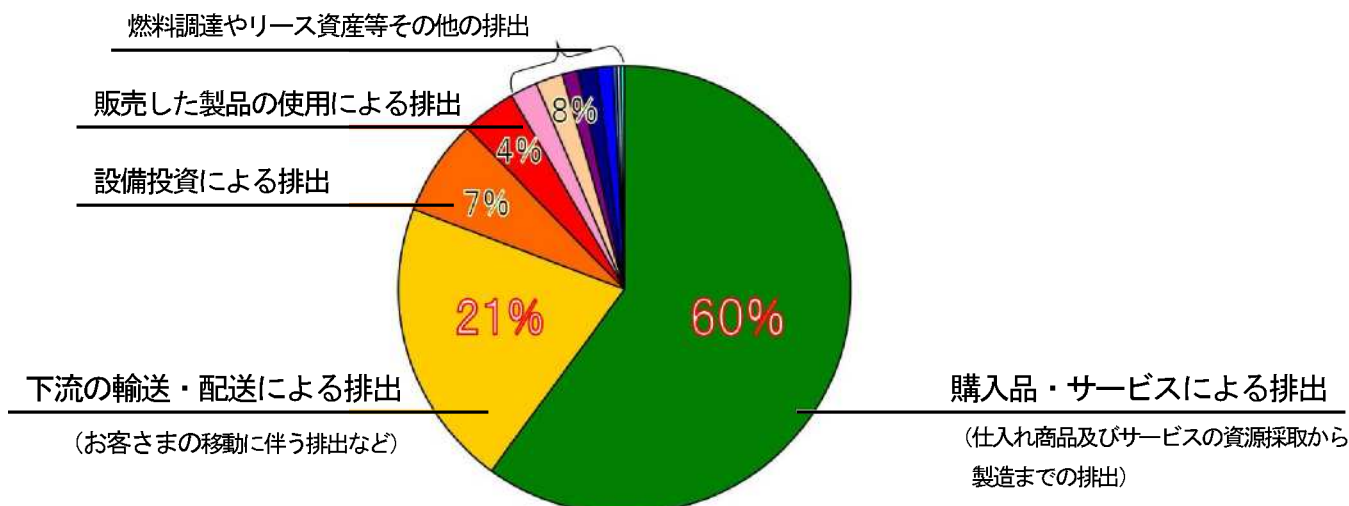
### ■ 算定結果

Scope3における温室効果ガスの排出を構成する15のカテゴリのうち、該当のあった13カテゴリで算定を実施し、その結果、**当社の2013年度「Scope3」による温室効果ガス(GHG)排出量は、CO<sub>2</sub>に換算すると55万トン(t-CO<sub>2</sub>e<sup>\*</sup>)**となりました。このうち、「購入品・サービスによる排出」が全体の6割ともっとも多く、次いで「下流の輸送・配送による排出」が2割と、2カテゴリ合計で全体の8割にいたりました。この算定結果をもとにサプライチェーン全体でのCO<sub>2</sub>排出量の削減が進むように努めてまいります。

tCO<sub>2</sub>-e : CO<sub>2</sub>換算排出量

今後、丸井グループホームページでも継続して取組みをご報告していく予定です。

2013年度丸井グループ  
「Scope3」によるCO<sub>2</sub>排出量比率



## Scope3による排出量について

企業の自社範囲で生じる温室効果ガスの排出量だけでなく、原材料の採取や生産時、商品が使用される際や廃棄するときに出る温室効果ガスなど、サプライチェーン全体で発生する温室効果ガスの量をより正確に把握するための算定基準が設けられています。

算定方法は、環境省・経済産業省が定めたサプライチェーンにおけるGHG排出量の算定方法に関するガイドライン「サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン」に準拠し、今回の丸井グループにおける排出量算定については、みずほ情報総研株式会社さまに、算定結果の確認を実施していただきました。

### ■ 丸井グループの概要

商 号 : 株式会社 丸井グループ  
 本 社 所 在 地 : 〒164-8701 東京都中野区中野4-3-2  
 代 表 電 話 : 03(3384)0101  
                   FAX 03(5343)6615  
 U R L : <http://www.0101maruigroup.co.jp>  
 社 長 : 青井 浩  
 店 舗 数 : 24店舗 (2014年3月31日現在)  
 主 な 関 連 会 社 : (株)丸井、(株)エポスカード、(株)エイムクリエイツほか